

令和8年度入学者選抜学力検査問題

小 論 文 (本文3ページ)

地域デザイン科学部

コミュニティデザイン学科

12時30分—14時00分

〔注意〕

1. 検査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れずに記入しなさい。
3. この問題冊子には第1問(問1から問3まで)ある。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出なさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。所定の欄以外に記入したものは無効である。

小論文（地域デザイン科学部コミュニティデザイン学科）

問題訂正

〈問題訂正〉

3 ページ 第1問 問2 出典

（誤）

出典：内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画  
における現状と課題（令和7年7月）

（正）

出典：内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画  
の現状と課題（令和7年7月）

**第1問** 世界経済フォーラムが2025年公表したジェンダーギャップ指数(GGI、各国の男女格差を数値化したもの)では、日本は148ヶ国中118位であった。このため、内閣府男女共同参画局では様々な調査を行っている。以下の問1から問3について答えよ。

問1 図1は日本の正規雇用比率の推移を男女別、年齢階級別に示したものである。図1から読み取れることを、男女を比較しつつ述べよ。(200字以内、句読点・改行による空白を含む)

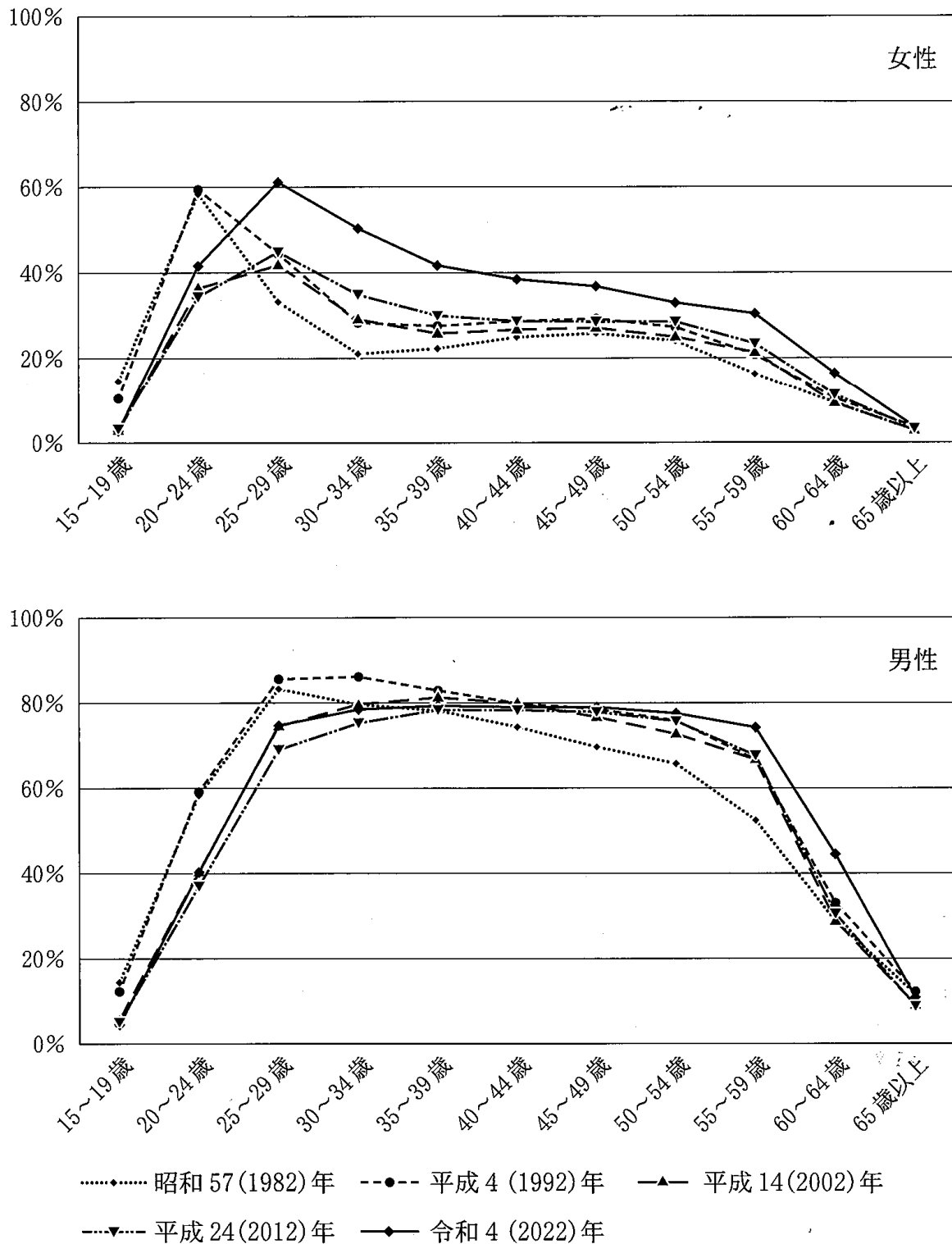


図1 正規雇用比率の推移(女性・男性、年齢階級別)

備考：正規雇用比率は、当該年齢階級人口に占める「役員」及び「正規の職員・従業員」の割合を指す。

出典：内閣府男女共同参画局「令和6年版男女共同参画白書」より作成

問 2 図 2 は、男女別に見た生活時間の国際比較である。図 2 から読み取れることを述べよ。(200 字以内、句読点・改行による空白を含む)

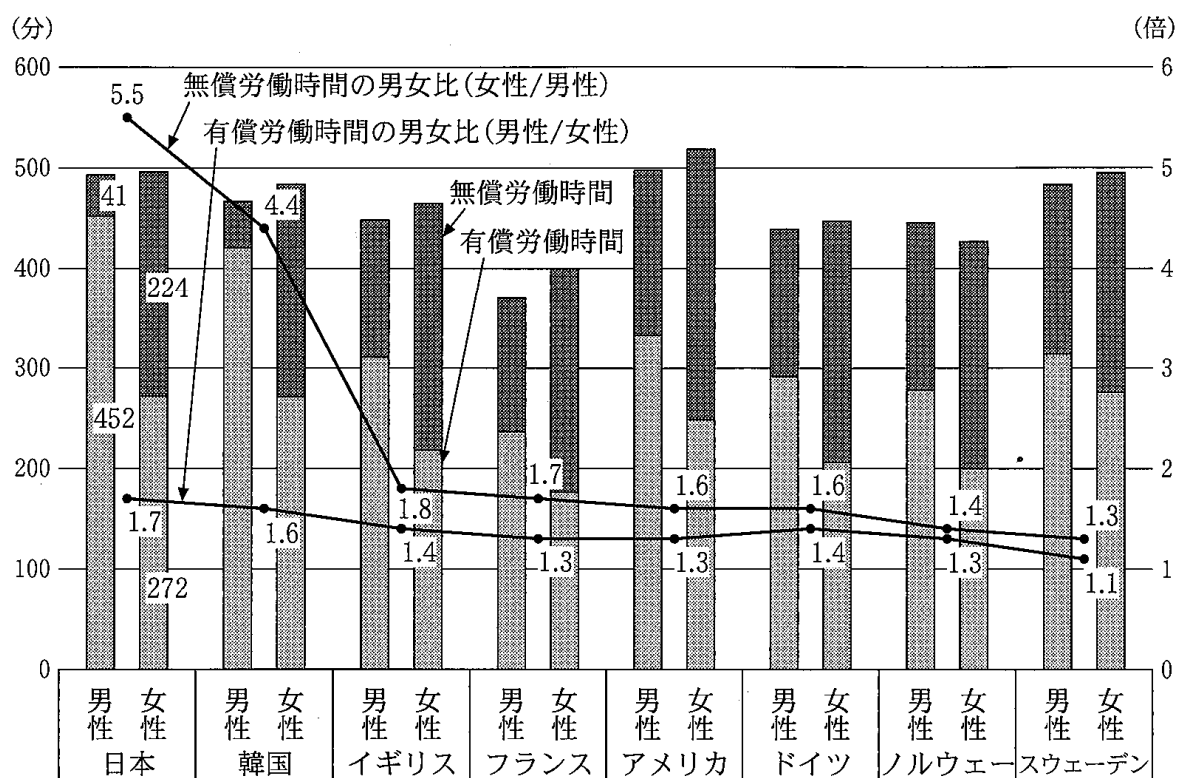


図 2 男女別に見た生活時間(週全体平均)(1日当たり、国際比較)

備考：有償労働は「有償労働(すべての仕事)」、「通勤・通学」、「授業や講義・学校での活動等」、「調査・宿題」、「求職活動」、「その他の有償労働・学業関連行動」の時間の合計。無償労働は「日常の家事」、「買い物」、「世帯員のケア」、「非世帯員のケア」、「ボランティア活動」、「家事関連活動のための移動」、「その他の無償労働」の時間の合計。

：データの各国の取得年次は異なるがそれについては考慮しなくてよい。

出典：内閣府男女共同参画局「女性活躍・男女共同参画における現状と課題(令和7年7月)」

問 3 図 1、図 2 をもとに、日本で男女格差が生じる原因を考察するとともに、状況を改善するにはどうしたらよいか、あなたの考えを述べよ。(600 字以内、句読点・改行による空白を含む)